

No.	選 定 用 語	ふりがな	英語表記	同義語	類義語・関連語	意 味	新分類訳書 記載ページ
1	外傷性潰瘍性歯肉病変	がいしょうせいはいようせいしにくびょうへん	traumatic ulcerative gingival lesions	なし	なし	歯ブラシやデンタルフロスの不適切な使用による過度の外傷を原因とする。歯肉表面の裂傷や潰瘍等を指す。組織の欠損が広範囲に及ぶと歯肉退縮を引き起こす。壊死性歯肉炎・壊死性歯周炎との鑑別が重要である。	46
2	角化粘膜	かっかかねんまく	keratinized mucosa	なし	角化歯肉 付着歯肉	表層の上皮が角質化している粘膜組織。天然歯周囲においては角化歯肉であるが、インプラント周囲の軟組織は歯肉ではなく粘膜であるため、角化粘膜と呼ぶ。臨床的には、インプラント周囲に非可動性の角化粘膜が存在することにより、外力や細菌の刺激に対する周囲組織の抵抗性が増し、インプラント体がより安定することが期待されている。	244
3	急性歯周疾患	きゅうせいししゅうしつかん	acute periodontal diseases	なし	急性歯周病変 歯内一歯周病変	歯周組織や口腔組織に急性発症し、痛みや違和感、組織破壊、感染を主徴候とする臨床症状を呈する場合がある病変。歯肉膿瘍、歯周膿瘍、壊死性歯周疾患、ヘルペス性歯肉口内炎、歯冠周囲膿瘍、歯冠周囲炎、歯内一歯周(複合)病変があげはまる。	86
4	グレード(の)分類	ぐれーどぶんるい	grading	グレーディング グレードづけ	ステージ分類	2018年6月に、アメリカ歯周病学会(AAP)・ヨーロッパ歯周病連盟(EFP)より公表された分類。歯周炎の進行速度およびリスクを反映するものである。5年間の骨吸収、クリニカルアタッチメントロス(CAL)と骨吸収/年齢比、バイオフィルム量に対する破壊度、喫煙および糖尿病のコントロール状態を考慮し、分類する。	164
5	根尖性インプラント周囲炎	こんせんせいいんぷらんとしゅういえん	periapical peri-implantitis	逆行性インプラント周囲炎	インプラント周囲炎	エックス線画像において、インプラントの根尖側先端部に透過像が認められる疾患であり、インプラント周囲粘膜に、発赤、腫脹、排膿、あるいは膿瘍形成を伴う場合もある。一般的にはインプラント埋入後8週間以内に発症し、その多くは隣在歯あるいはインプラント埋入前の根尖性歯周炎が関連しているとされている。	262
6	サポータティブインプラントセラピー	さぽーていぶいんぷらんとせらびー	supportive implant therapy	サポータティブインプラントトリートメント サポータティブポストインプラントセラピー メンテナンス	サポータティブペリオドンタルセラピー	インプラント治療後に、インプラント周囲疾患を予防し、インプラントを長期間維持するために行われるメンテナンスプログラム。定期的なリコール時に、インプラント周囲組織を検査後、セルフバイオフィルムコントロールを確認し、必要に応じて機械的なクリーニング等を行う。	254
7	初期歯肉炎	しょきしにくえん	incipient gingivitis	なし	ブラーク性歯肉炎	浮腫やブローピング時における即時の線状出血ではなく、軽度の発赤やブローピング時の遅発性で破線状の出血といった軽度の炎症が、わずかな部位に認められる歯肉の炎症。	31
8	シンバイオーシス	しんばいおーしす	symbiosis	シンビオーシス	相利共生	腸内細菌や口腔内細菌などの常在菌が動物(宿主)と相互に栄養源などを補足し、バランスの取れた相互関係を持ちながら共存して細菌叢(マイクロバイオータ)を形成している状態。細菌は共凝集・共接着をし、菌種間シグナル伝達によりコミュニティとして適応し、宿主の健康も保たれている。	なし
9	ステージ(の)分類	すてーじぶんるい	staging	ステージング ステージ分け	グレード分類	2018年6月に、アメリカ歯周病学会(AAP)・ヨーロッパ歯周病連盟(EFP)より公表された分類。歯周炎の重症度を反映するものであり、患者のクリニカルアタッチメントロス(CAL)の最大値と骨吸収、喪失歯数および複雑性を基準にIからIVに分類する。それぞれのステージにおいて、病変の広がり(限局型・広汎型・切歯/臼歯型)についても記載する。	164
10	ディスバイオーシス	でいすばいおーしす	dysbiosis	ディスビオーシス	共生バランス失調	腸内細菌叢や口腔内細菌叢などの常在細菌叢が質的・量的に構成異常を起こした状態である。その結果、病原因子の発現上昇や多様性の低下が起こり、宿主は炎症などの疾患を発症する。口腔内細菌叢においては歯周病が引き起こされる。腸内細菌叢においては肥満、2型糖尿病、炎症性腸疾患、大腸がんなどが引き起こされ、さらには腸脳相関の破綻によりうつ病などを発症することが明らかになっている。	160
11	Haim-Munk症候群	はいむむんくしょうこうぐん	Haim-Munk syndrome	なし	Papillon-Lefèvre 症候群	免疫疾患に関連する遺伝性疾患。手掌足底過角化病変、クモ指症、切端骨溶解、爪の萎縮性変化およびエックス線画像にて指の変形が認められる。歯の萌出直後の重度の歯肉の炎症、高い付着の喪失率、乳歯および永久歯の早期喪失がみられる。カタプシンC遺伝子の変異が原因とされており、同じ遺伝子の変異により生じるPapillon-Lefèvre 症候群とは臨床症状により鑑別可能である。	183
12	レンサ球菌性歯肉病変	れんさきゅうきんせいしにくびょうへん	Streptococcal gingivitis	なし	非ブラーク性細菌感染症	レンサ球菌株によるブラークに関連しない急性歯肉病変。ときに上気道感染が先行し、微生物検査を併用した生検によって診断する。	37